

## 外観



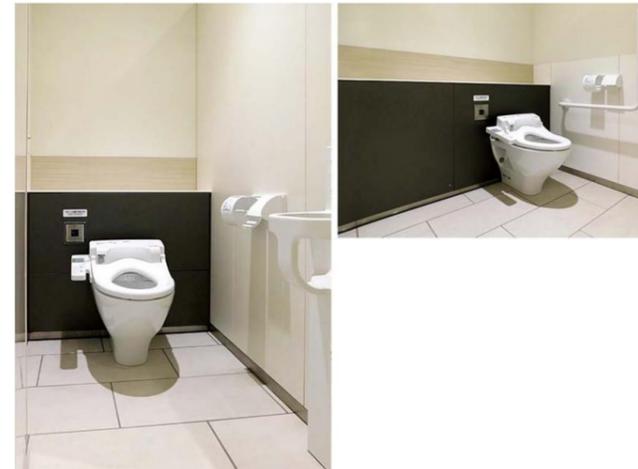
グリーンとブルーが並んだボーダー柄が、施設のキービジュアル。緑色は広場の開放感ある芝生を、水色は施設のそばを流れる中川運河や広場のピオトーブを象徴。外観にもそのデザインが施されている。

## 店内



東海エリア初出店も含め、ファッション・フード・サービスなど幅広い世代が楽しめる多彩なショップラインナップで、217店舗が出店している。

## 3F 男性トイレ 大便器ブース



(写真左)大便器背面には手荷物がしっかりと置ける、奥行き250mmのライニングを確保。(写真右)トイレ出入口の一番近くには、ベビーカーごと入室できる広めのブースを設けている。

## 3F 多機能トイレ



広めのスペースを確保した多機能トイレには、オストメイト対応トイレパックや収納式多目的シートを完備している。

## 1F 女性トイレ 洗面コーナー



アイランドタイプの洗面コーナー。化粧鏡の形状や高さを抑えた設置により、混雑時でも空間全体が見渡せ、ブースの空き状況が一目でわかるレイアウトとなっている。

## 1F 女性トイレ スタイルングコーナー



(写真左)スタンディングタイプのスタイリングコーナー。棚下には荷物をかけることのできるフックを設置。(写真右)トイレ入口横には、小さなお子様連れに配慮し、幼児用小便器を1ヶ所設置している。

## 3F キッズトイレ



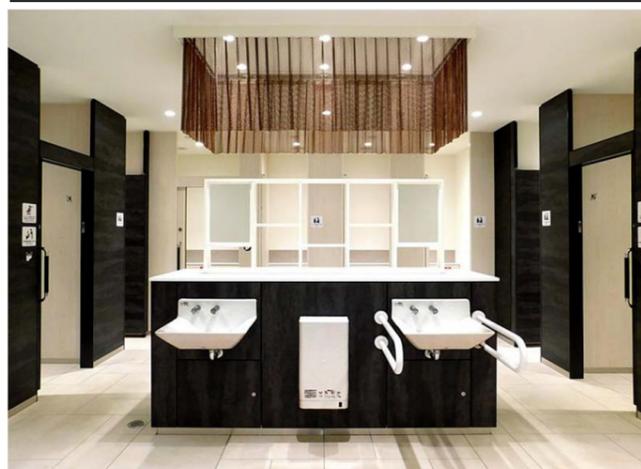
花柄をモチーフにした内装が、かわいらしい雰囲気を演出するキッズトイレ。ゆとりを持って作られた空間で、保護者に見守られながら安心して使用することができる。

## 3F ベビー休憩室



ゆとりある空間を確保した、おむつ替えスペースと授乳室。授乳室には調乳コーナーや手洗いコーナーを備えている。

## 1F 女性トイレ 洗面コーナー



ほかの女性トイレと同じアイランドタイプの洗面コーナー。レイアウトが同じでも、内装の仕上げや化粧鏡、照明まわりの納まりによる演出で、各トイレの雰囲気に変化をつけている。

## 3F 男性トイレ



白を基調とした空間に、ブラックのモザイクタイルがアクセントにあしらわれ、シックで落ち着いた雰囲気の内装となっている。

## 建築概要

名称	ららぽーと名古屋みなとアクルス
所在地	愛知県名古屋市港区港明2-3-2
施主	三井不動産株式会社
設計	株式会社 竹中工務店
施工	株式会社 竹中工務店
竣工年月	2018年8月

## 水まわりの特長

### <建物の特徴>

かつて「東洋一の大河」と呼ばれ、名古屋の経済発展を支えた中川運河。「みなとアクルス」は、名古屋都心と港を結ぶこの中間エリアに誕生したスマートタウン。ナゴヤドーム6個分の敷地に、自然、エネルギー、住まい、ショッピング、スポーツなど多彩なシーンを広げ、新しいライフスタイルを提案する街づくりを進めている。「ららぽーと名古屋みなとアクルス」は、その一環となるショッピングセンターで、東海3県初進出の「ららぽーと」として、「ヒトを繋ぎ、時をつむぐ、「コネクトモール」」をコンセプトとする。ファッションをはじめ、食やエンターテインメント施設が集結し、イベントスペースやピオトーブを有する広大な屋外広場、館内にある多目的コミュニティスペースなど、未来を見つめた街づくりの中心を担う施設づくりを進めている。

### <トイレの特長>

幅広い利用者が想定される当施設には、一般トイレ以外に、多機能トイレ、授乳室、キッズトイレなどが、各フロアの利用者特性に応じて適宜設置されている。女性配慮として、すべての女性トイレにはスタイリングコーナーを設置。特に利用が多く見込まれる乳幼児配慮として、ベビーカーごと入室できる広めブースや、ベビーカー付きのブースが、男女トイレともに一定数確保されており、使いやすい環境が整えられている。